

# 行歯会だより 第162号

(行歯会=全国行政歯科技術職連絡会)

令和3年5月号



## 1 最近思うこと・考えること

初代行歯会会長(現 新潟医療福祉大学特任教授)

石上 和男

## 2 小規模だからできる楽しい歯科保健を語り合う

香美町健康課健康増進係 西谷 真悠子

## 3 令和3年度第1回行歯会理事会報告

### 1 最近思うこと・考えること

最近思うこと・考えること

初代行歯会会長(現 新潟医療福祉大学特任教授) 石上和男

コロナ禍でそれぞれが生活様式を変えざるを得なくなっている中、今年1月26日に行なわれた行歯会 Zoom ミーティング「小規模だからできる楽しい歯科保健」は、私にとって極めて新鮮な時間であった。

参加された皆さんも多分同じ気持ちになられたのではないかと思います、事後のアンケートを拝見すると合点でした。

これまでであれば、一堂に会した会議が行われ、若い人たちは思っていることを発言するにはとても勇気が必要だったと思われる。これに反し今回はどうだったろうか。参加している皆が堂々と話をし、お互いに意見交換をする。このことが不足していたと大いに反省させられた。すなわち双方向のコミュニケーション、意見交換が不足していたのではないかということである。



私は新潟県庁に1978年(昭和53年)から勤務し、現在は新潟医療福祉大学に在籍している。行政での勤務経験を活かして、公衆衛生学と医療福祉計画政策論という課目を教えているが、コロナ禍でリモート授業なので、一方通行の授業になっている。聞く側の学生は講義する側の我々以上のストレスがあるものと推測される。臨場感がなく、熱意もなかなか伝わらないというストレスで爆発しそうな状況にあることは誰が見ても明らかである。しかしながら今回の行歯会 Zoom ミーティングにおける参加者のいきいきとした発言は一体何だったのかと考えてみた。

戦後生まれの私たちは「親父の背中を見て育つ」という教育を嫌というほど教えられてきた。実際に行ってきたことは「見ればわかるでしょう!」「わからなければ聞けばいいでしょう!」であった。我々が新潟県で行ってきたことは、フッ化物洗口の推進や、歯科保健係の設置、むし歯半減の県民運動、そして歯科保健条例化など他県に先駆けて実施したと自負してきた。歯科医師や歯科衛生士の配置は当初数人であったものが現在は7人となり、歯科保健係という組織もでき、歯科保健予算は当初の150万円から100倍を超えるようになっていく。それらの成果は下図に示すとおりである。これらの内容は拙文、行歯会だより108号(平成28年2・3月号 先輩からのエール「大医をめざそう!」) [https://www.niph.go.jp/shiki/koku/oralhealth/contents/No108\\_20160203.pdf](https://www.niph.go.jp/shiki/koku/oralhealth/contents/No108_20160203.pdf) 及び歯界展望座談会「フッ化物洗口50年「学校などの施設で行うフッ化物洗口を振り返り、今後を語る」(136巻3号2020年9月号607-615)を参照いただきたい。

今回私が最も皆さんに伝えたいことは、各地域で懸命に取り組んでおられる皆さんに、新潟県での取り組みのエキスを伝えることや、各地の取組に応じたアドバイスができるのでないかということである。これまでは年に数回の研修会や講演会を通じて研鑽の場が設けられるのが精一杯だったが、Zoomを使った双方向ミーティングはこれらの欠点を一掃できる画期的な方法のひとつと考えられる。

「背中を見るだけでは育たない」のである。聞きたいことや現場での悩み等が「双方向コミュニケーション」を通じて可能となる。コロナのおかげでそれが可能になったと考えるべきと思うに至った。これが今の私の心境である。これを実現するためには、運営者の努力が必要であるのは言うまでもないが、それが行歯会の果たす役割のひとつだと考えるようになった。

# 12歳児1人平均むし歯数の推移(新潟県)

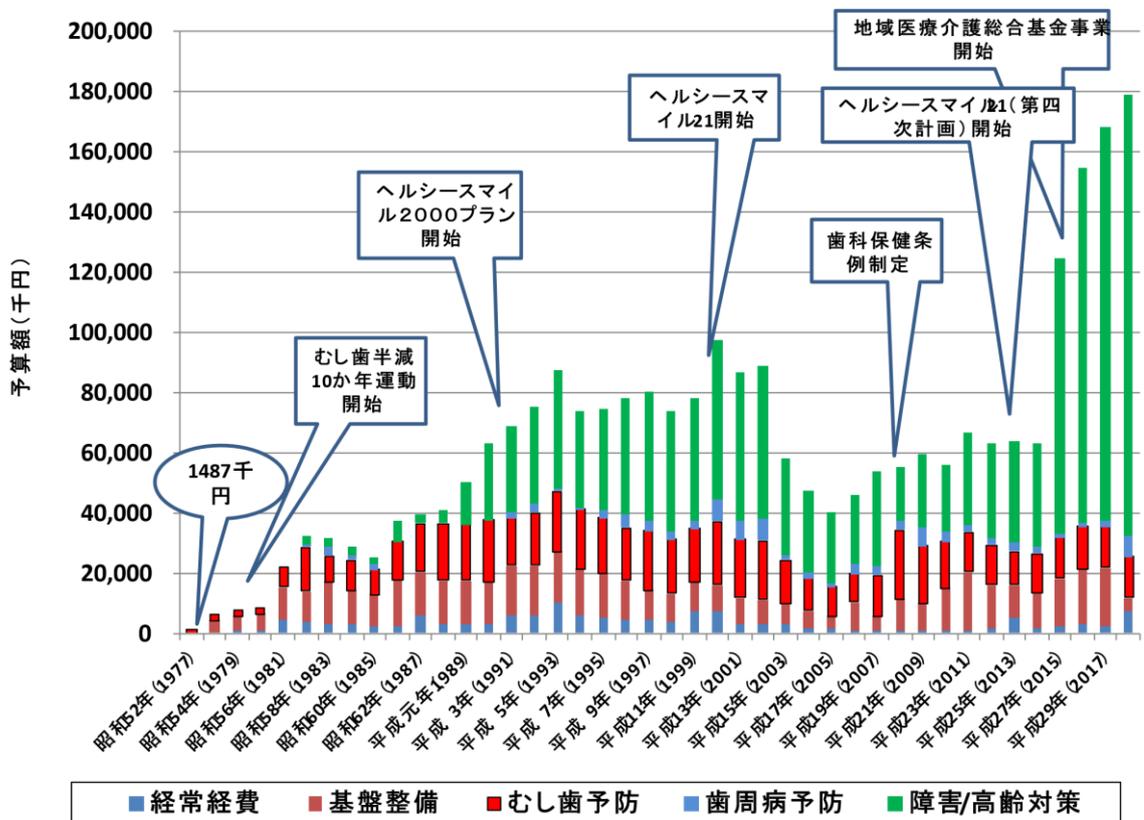
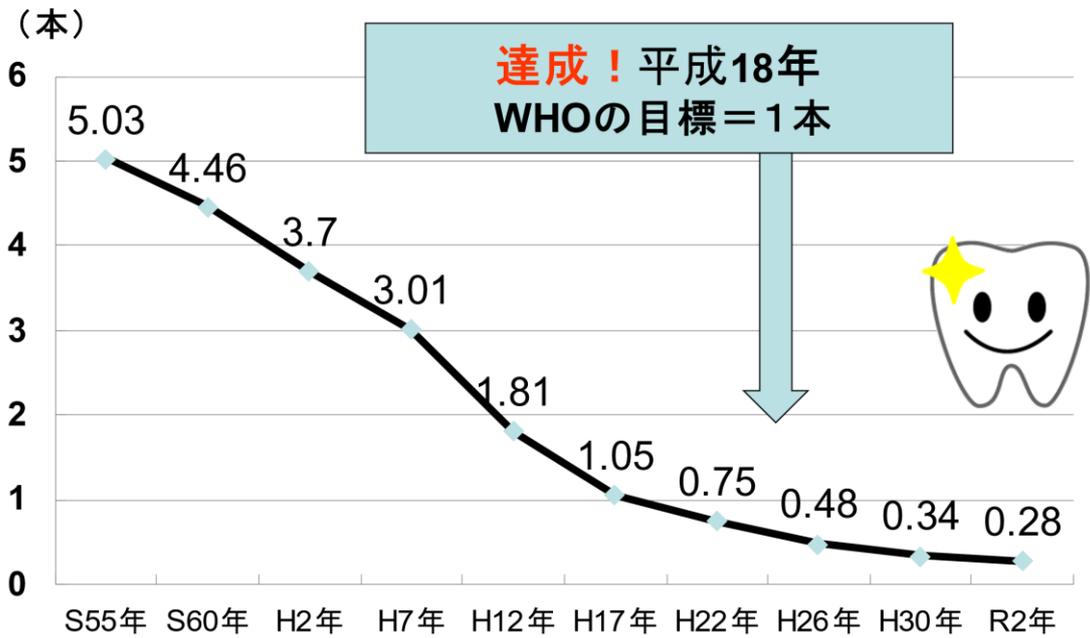


図2 新潟県歯科保健予算の推移

## 2 「小規模だからできる楽しい歯科保健」を語り合う

香美町健康課健康増進係 西谷 真悠子

行歯会の皆様、初めまして！

私は、兵庫県香美町に勤務しています、歯科衛生士の西谷と申します。

皆様にはいつも貴重な情報提供をいただき、感謝申し上げます。

昨年10月の公衆衛生学会自由集會に、兎塚・川会歯科診療所の中田先生と一緒に参加させていただきました。終了後に、「同規模市町だと、分かり合えることがきっと多いはず。コロナ禍で直接会うのは難しいけれど、Zoomを活用すればつながれるのでは?!」と、先生と話をしていたことが、気づけば企画として立ち上がり、実現できたことをとてもうれしく思います。事務局の皆様、参加者の皆様、本当にありがとうございました。

私は、今年で香美町に配属されて4年目になります。全ライフステージにかかわることのできる行政の歯科衛生士に興味があり、兵庫県内で唯一募集のあった、香美町に就職しました（実は、神戸生まれ神戸育ちで、香美町には縁もゆかりもありません）。香美町は人口17,000人弱の小さな町で、小さいからこそその楽しさを感じながら日々を過ごしています。

私が「『小さなまちの歯科衛生士』とつながりたい!」と思ったのは、日々の業務を進める中で、他市町村の歯科衛生士の方々とつながりが少ないように感じたからです。もちろん、兵庫県、県内各市町の歯科衛生士の皆さんにはいつも色々と相談させていただき、大変お世話になっています。しかし、コロナ禍でもあり、県外の歯科衛生士の方々とは関わる機会が少なく、事業を進める中で「誰かに相談したいけれど、誰に相談したらいいんだろう」と思うことも多くありました。

当日少し緊張していましたが、実際始まると色々と共感できることも多く、参加者の方々のお話に、画面の前で「分かる!!」と大きくなずきながら聞いていました。私も事例発表させていただきましたが、新潟県胎内市の高橋さん、三重県紀宝町の竹田さんの発表をお聞きし、当たり前かもしれませんが、それぞれの市町で課題や取り組んでおられる事業は様々な特色があり、とても新鮮でした。コロナ禍で、他市町村の取り組みをお聞きする機会も少なかったことで、自分自身の視野が狭くなっていたように思いました。また、終了までに参加者全員の方が発言され、これだけの歯科衛生士の皆さんが同規模市町村におられると思うと、とても心強く感じました。

率直な感想としては、「楽しかった!!」というところが一番です。終了時刻の21:00を過ぎても会話がつきませんでした。今回の「つながり」を大切にして、皆さんの力をお借りしながら、「住民が幸せに暮らせるまちづくり」を目指して業務に取り組んでいきたいと思っております。他の議題でも開催ができれば、それもまた面白いだろうなと思えました。



オンラインを活用したことで、距離があってもつながれたようにも思いますが、直接お会いできる日が来ることを楽しみにしています。機会があれば、香美町にもぜひお越しください。自然の豊かな、美しい町です。本当にありがとうございました。

### 3 令和3年度 第1回行歯会理事会報告

第5期行歯会として初回の理事会を開催したので、報告します。

日時:令和3年5月12日(水)19時~20時30分 国立保健医療科学院 Zoomにて開催

司会:清田副会長 出席者(23名)

- 1 会長(1):堀江
- 2 副会長(3):芦田、小栗、清田
- 3 事務担当理事(8):加藤(書記)、田所、田村、長、中島、林、柳澤、吉野
- 4 ブロック理事(8):佐々木、(清田)、大友、中山、五十嵐、(芦田)、岸井、中條、  
小池田、(小栗)、(堀江)、黒田
- 5 事務局(3):福田、田野、安藤

※欠席(9):種村、若栗、多田、山田、芝田、沖野、下田、田中、森内

※行歯会理事一覧(行歯会HPに掲載)

<https://www.niph.go.jp/soshiki/koku/oralhealth/yakuin.html>

#### 1 出席者確認

自己紹介で新理事の紹介を行った。

#### 2 行歯会業務内容の確認

##### (1) 行歯会だよりに関すること

- ・編集担当者は、2名体制で、半年は副担当、半年は主担当で1年間担当していた。令和2年11月以降は、賛助会員から寄稿いただき、合併号ではなく毎月発行している。課題は、2人で年間計画を立てるのは難しいこと。原稿執筆を誰に依頼するか悩み、原稿の受け取りも督促しにくいいため、自転車操業となってしまう。
- ・編集担当は大変なので、企画担当を新たに設けた。予めスケジュールしておき、原稿を集めたい。都道府県世話役のつぶやきは順番を決めて置き、賛助会員には順番に近況報告等依頼する。ニューフェースは、名簿更新時に把握し、ブロック単位で依頼してもらう、夏ゼミや公衆衛生学会自由集会、世話役アンケート、ブロック会議の報告等ルーティン化で進める工夫をして、担当者が悩まないようにしたい。
- ・行歯会だよりは会発足当時から継続している会の財産。事例集的にもなっているため、年間計画を立てて取り組んでいけたらと思う。

- ・世話役アンケートの報告を掲載したい。→6月号以降で調整。

## (2) 災害歯科保健医療連絡協議会に関すること

- ・J D A T (Japan Dental Alliance Team)については、設置要領が定められつつある。ワーキングに理事1名が参加する。次回は、6月2日を予定。堀江会長と相談し、柳澤理事が出席することになった。
- ・行歯会は、日本歯科医師会中心で進めている災害時歯科保健医療連絡協議会の参画団体に入っており、会長が出席し、災害時は行政職が担う役割が多いという理由でワーキングにも柳澤理事が出席している。対外的な活動として大きな役割を占めているものであり、会員向けに情報発信を充実できたらと思う。

## (3) Zoom を活用した取組に関すること

- ・Zoom 活用に関する会員アンケート調査の企画案を作成した。行歯会における Zoom 活用の具体案を求め、実現に関わる人材を募ることを主目的としている。担当者により調査票の案を作成し、調査実施してプランニングする。今年度の公衆衛生学会（東京開催予定）の自由集会と2/16に行った「小規模だからできる楽しい歯科保健」を語り合う」の第2弾も関連する内容なので検討していきたい。  
なお、保健医療科学院では Lime Survey という Web アンケートシステムが使えるようになったので、これを用いて調査する予定。

## (4) その他

### 会員名簿管理について

- ・定例的に5月に更新作業を行い、6月を目途に完成。その後、MLの更新を福田先生に依頼。年度途中で産休や退職等あり、都度更新作業を行っている。所属自治体の人口カテゴリー作業は次回以降に行う。理事は任期が4年であることから、年齢構成確認が必要ではないかと前執行部より引き継いでいる。定例的に5月に更新作業を行い、6月を目途に完成。その後、MLの更新を福田先生に依頼。年度途中で産休や退職等あり、都度更新作業を行っている。人口カテゴリー作業は次回以降に行う。理事会メンバー年齢構成確認が必要ではないかという話が出ている。

※都道府県世話役一覧（行歯会 HP に掲載）

<https://www.niph.go.jp/soshiki/koku/oralhealth/sewayaku.html>

### 3 第5期執行部業務分担に関する協議

堀江会長から業務分担の考え方と具体案が示され、協議した結果、おおむね了承された。本日欠席の理事もいるので、改めて確定する。

Q：Zoom 企画とは？何をするのか？

A：個別のプロジェクトは理事に限らず発案者等に振ればよい。前期理事会の時に意見をもらい、新人やブロック別に焦点を当てた Zoom ツールの会員向けの活動を考えて企画として投げかけて意見をもらえばよいと思う。

- ・世話役アンケートは前期と同様に実施しなければならないわけではないので、やり方含めバトタッチしていけばよい。
- ・役割分担に沿った形で担当者を組み入れたので、変更可能。事務担当理事は何かしら担当しようと割り振らせてもらった。

### 4 理事会開催スケジュールについて

- ・令和3年度は、5月、8月、2月を目途に年3回程度開催することとなった。

### 5 その他

- ・対外的な会長就任挨拶については、挨拶文をつくりメールで送付したいと考えている。厚生労働省は福田先生、日本歯科医師会及び日本歯科衛生士会は長理事に委ねることとする。
- ・保健医療科学院ホームページに掲載している理事一覧について、8名の理事から修正依頼があった。本日締めで修正依頼を行ったので、修正した一覧で掲載する。

以上



♪ 編集後記 ♪

先日、歯科医師のワクチン接種参加の報道があり「歯科医師でも医療従事者の負担軽減のために参加できることに意義を感じ、手を挙げた」と答える同期のO先生の姿が！学生時代、野球部の主将・エースとして連投を厭わず投げ続けた姿が思い出されました。改めてどこであろうと全力を尽くすのが我々の仕事の流儀であることを再認識させてくれました。(N)

年とともに、「つないでいくこと」の大切さをしみじみと感じるようになってきました。コロナ禍で様々な事が止まったり、縮小されたり、忘れられていたりしているように感じます。しかし決して失くしてはいけないものがあると改めて思う今日この頃です(K)

「歯っとサイト」掲載コンテンツ募集！

「歯っとサイト（歯科口腔保健の情報提供サイト）」

<http://www.niph.go.jp/soshiki/koku/oralhealth/index.html> では、

掲載コンテンツを募集しています。

掲載を希望される場合は、「行歯会だより」の配信メールに記載されている窓口宛にご連絡ください。